	-	₽成29年度 鎖	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準	評価表	<u>:</u>)				
			\ -1-\\	+- 1 11 111				会計	款	項	目	多額経費
事 剂	务事業名		王安市迫	整備事業				一般	8	2	3	_
	政策	32都市	活動を支えるる	を通網整備	帯を進め	ります		担当課室	道路	\$河。	川整	備課
	施策	3:	21安全でゆとり	ある道路	の整備			担当課室長	貞力	了字	文雄	
I 改革	·改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方法	策)							
① 前 神 で 内 で た 内 に く る で く る で く く く く く く く く く く く く く く	事業量を拡え入を積極的に	大するため、国の 二図る。	の交付金の導	③平原 皮革・内容		事業量金の導	量を拡力 拿入を利				の交	付
取組み結果	社会資本整備	構総合交付金を	導入した。	717								
	事業の目的・	概要										
①目的	対象	主要市道		意図(対象 するのか)		測量、	設計、	用地補	償、	工事	事を行	行う。
②事務事	事業の概要	安全で快適な道 形改良、排水素										
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合っなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進す							幅員や	舗装	とな	こって	い
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況										
		>	要市道の舗装改良及び用地取得を実施した。)市道22号線道路改良工事(L=210.9m)、市道51号線舗装改良工事									
①平成2 業の成界	8年度の事 果		道路改良工事(L	.=210.9m)、	市道51				=186	.0m)	、市	道19
業の成界		(1)市道22号線 号線舗装改良工	道路改良工事(L	.=210.9m)、 2)市道20 5	市道51	也取得(A			=186			道19
業の成界で表す		(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票 <mark>名称</mark> 事延長	=210.9m)、 2)市道20 5 平成26 年度 1,617	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362	也取得(/ 平成28 年度 1,068	A=1,466 単位 m	5.66㎡) 業務耳	算定			道19
業の成界 ②成果	- - ::	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標 工事延長【平成	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累	=210.9m)、 2)市道20 5 平成26 年度 1,617	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362	也取得(/ 平成28 年度 1,068	A=1,466 <mark>単位</mark> m m	3.66㎡) 業務 業務耳	算元 文得 文得	Ξ根Ξ	拠	道19
業の成果を表す指標	 	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標 工事延長【平成 「道路の状	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度	=210.9m)、 2)市道20号 平成26 年度 1,617 計】 3,364	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362 5,726	也取得(A 平成28 年度 1,068 6,794	A=1,466 単位 m m %	3.66㎡) 業務 業務 市民意	算元 又得 又得 意識	E 根 :	拠	
業の成身 ②成果 を表す 指標 ③事務事	 	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算	=210.9m)、 2)市道20号 平成26年度 1,617 計】3,364 -	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362 5,726 - 度決算	也取得(A 平成28 年度 1,068 6,794	A=1,466 単位 m m % ②)の主	3.66㎡) 業務 業務 市民意	算元 又得 又得 意識	E 根 :	拠 主 手度	予算
業の成果 ②成果 を表標 事業費(-	i ii iii 事業のコスト 千円)	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032	=210.9m)、 2)市道20分 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(=	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362 5,726 - 度決算 千円)	也取得(/ 平成28 年度 1,068 6,794 - (事業費	A=1,466 単位 m m % シの主	業務耳 業務耳 市民意 な内訳	算元 又得 又得 意識	E 根 :	<mark>拠</mark> 丰度 139	予算 0,834
業の成果 ②成果 を指標 事業費(= 国支出	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032	=210.9m)、 2)市道20分 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(=	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362 5,726 - 度決算 (円) 24,278	也取得(/ 平成28 年度 1,068 6,794 - (事業費 市道22号	本=1,466 単位 m m % うの主 内容	業務耳 業務耳 市民意 な内訳	算元 又得 又得 意識	E 根 :	<mark>拠</mark> 丰度 139	予算
業の成果 で成表標 事業費(三 事業を出 リース (三)	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円)	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指権 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032 80,315	=210.9m)、 2)市道20 ⁵ 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(三	市道51	也取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - (事業費 市道22号 市道51号	本=1,466 単位 m m % うの主 線道路電 線舗装電	3.66㎡) 業務耳 市民意 な内訳 攻良工事 攻良工事	算元 又得 又得 意識	E 根 :	<mark>拠</mark> 手度 139 30	予算 0,834 0,053
業の成果 で成表標 事費(支出 事業) 事業(手)	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円)	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098 51,500	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 記3年度から累 記3年度から累 289,032 平成28年度決算 289,032 80,315	=210.9m)、 2)市道20 ⁵ 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(三	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362 5,726 - 度決算 -円) 24,278 18,625 12,018	也取得(/ 平成28 年度 1,068 6,794 - 事業費 市道22号 市道51号	本=1,466 単位 m m % 対の主 内容 線舗装電 線舗装電	3.66m ²) 業務耳 市民記 な内訳 な良工事事 な良工事	算元 又得 又得 意識	E 根 :	<mark>拠</mark> 丰度 · 139 30	予算 0,834 0,053
業の成果 ②表標 事費支支 情報 「一般則	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指権 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 記3年度から累 記3年度から累 289,032 平成28年度決算 289,032 80,315	=210.9m)、 2)市道20 ⁵ 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(三	市道51 号線用地 平成27 年度 2,362 5,726 - 度決算 -円) 24,278 18,625 12,018	也取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - (事業費 市道22号 市道51号	本=1,466 単位 m m % 対の主 内容 線道路は 線舗装は	3.66m ²) 業務耳 市民記 な内訳 な良工事事 な良工事	算元 又得 又得 意識	E 根 :	<mark>拠</mark> 丰度 · 139 30	予算 0,834 0,053
業の成果 で成表標 事費(支出 事業) 事業(手)	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098 51,500	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032 80,315 107,300 101,417	=210.9m)、 2)市道20分 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(二	市道51	也取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - (事業費 市道22号 市道51号 市道19号	A=1,466 単位 m m % りの主 線道路で 線舗装で つ号線月	3.66㎡) 業務耶 業務民意 な内訳 な良工事事事 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、	算分 又得 又得 文	調査	<mark>車度</mark> 139 30 43 66	予算 0,834 0,053 3,700 6,081
業の成果 ②成表標 事費支支出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098 51,500 99,238 市の主要な道 や舗装構成にな i 市関与の妥当性	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 223年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032 80,315 107,300 101,417 路でも、歩道がなっていない。 3高い	=210.9m)、 2) 市道20号 平成26 年度 1,617 計】 3,364 - 平成28年 金額(コ	市道51	也取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - (事業費 市道22号 市道19号 市道20	A=1,466 単位 m m % りの主 線道路で 線舗装で つ号線月	3.66㎡) 業務耶 業務民意 な内訳 な良工事事事 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、	算	調査 294 合っつ	<mark>車度</mark> 139 30 43 66	予算 0,834 0,053 3,700 6,081
業の成果 ②表標 事費 支 支 債 段 IV 課題 価 ②	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098 51,500 99,238 市の主要な道 や舗装構成にな i 市関与の妥当性	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032 80,315 107,300 101,417 路でも、歩道がなっていない。 3高い 3高い	=210.9m)、 2) 市道20 ⁵ 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(三	市道51	地取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - 事道22号 市道51号 市道19号 市道20 新前3高い 3高い 3高い	A=1,466 単位 m m % 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 多 く 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	3.66 m ³) 業務 業務 市内訳 な良工事事事 は良ま工事事事	算なり、ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・	調査 (294) 合っ	拠 139 30 43 66 た帕	予算 0,834 0,053 3,700 3,081
業の 成果 で 成果す の 成表標 事業 国県市 一評 題 一評 題 一部 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 に 記 に に に に に に	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工工事延長【平成下道路の状平成27年度決算 219,836 69,098 51,500 99,238 市の主要な道がや舗装構成にでは、 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民ある。 る事業等の「多	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 223年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032 80,315 107,300 101,417 路でも、歩道がなっていない。 3高い 3高い の「道路の状況	=210.9m)、 2) 市道20分 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(ラ 無い箇所・ iii 公平性 iv 効率性 J不満足原	市道51	地取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - 事道22号 市道51号 市道19号 市道20 新前3高い 3高い 3高い	A=1,466 単位 m m % 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 線 多 く 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	3.66 m ³) 業務 業務 市内訳 な良工事事事 は良ま工事事事	算なり、ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・	調査 (294) 合っ	拠 139 30 43 66 た帕	予算 0,834 0,053 3,700 3,081
業の 成表標 事業 国県市 一評題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098 51,500 99,238 市の主要構成にで i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民意識調査である。	道路改良工事(L 事(L=181.0m)(票名称 事延長 223年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 289,032 80,315 107,300 101,417 路でも、歩道がなっていない。 3高いの「道路の状況 時期」においる 号線、軽井沢	=210.9m)、 2) 市道20 ⁵ 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(コー ※ 一 ※ 一 ※ 一 ※ 一 ※ 一 ※ 一 ※ 一 ※ 一	市道51	地取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - 事道22号 市道51号 市道19号 市道20 新前3高い 3高い 3高い	A=1,466 単位 mm 96 りの主 線舗装は 線舗装 の号 を りの主 りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの	3.66m [*]) 業業市内 な り り り り り り り り り り り り り り り り り り	算は、日本のでは、日本の	三根: 調査294 合	拠 139 30 43 66 た幅 7拡え	予算 0,834 0,053 3,700 3,081
業の 成表標 事業国県市一評題 ① ③ 取 1 1 1 1 1 2 3 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工 工事延長【平成 下道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098 51,500 99,238 市の主要構成にで i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民る。 る事業等の「実 市道20、22、26 周回道路、舗装 市道20、22、26	道路は東(L=181.0m)(票名称 事(L=181.0m)(票名称 事延長 23年度から累 深成28年度決算 289,032 80,315 107,300 101,417 路でも、いない。 3高い 3高い の「道路・大ない。 3日本 (大ない。 3日本 (大ない) 3日本 (大ない。 3日本 (大ない) 3日本 (大ない)	=210.9m)、 2) 市道20 ⁵ 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(コー 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	市道51	也取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - (事業費 市道22号 市道19号 市道3高いが 3高いが 3高いが 多事類	A=1,466 単位 mm 96 りの主 線舗装は 線舗装 の号 を りの主 りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの りの	3.66 m ³) 業業市内 な 良良 良良 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	算は なるでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	三根 調29 ³ 合	拠 139 30 43 66 た 拡 不 1)	予算 0,834 0,053 3,700 3,081
業の 成表標 事業国県市一評題 ① ③ 取 1 1 1 1 1 2 3 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	i	(1)市道22号線 号線舗装改良工 工事延長【平成 下道路の状 平成27年度決算 219,836 69,098 51,500 99,238 市の舗装構成にな i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民る。 であ事業等の「実 市道20、22、26 周回道路、舗装	道路(L=181.0m)(票名称 事(L=181.0m)(票名称 事延長 223年度から累 況」不成28年度決算 289,032 80,315 107,300 101,417 路でもいい。 3高いの「道計・収入 3高いの「道計・収入 5号改良、工 5号改良、工 5号改良、工 5号改良、工 5号改良、工 5号改良、工 5号改良、工 5号改良、工	=210.9m)、 2) 市道20 ⁵ 平成26 年度 1,617 計】3,364 - 平成28年 金額(- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	市道51	世取得(A 平成28 年度 1,068 6,794 - 事道22号 市道22号 市道19号 市道20号 市道10号 新高い 3高い ずるため 度事額 当初	本=1,466 単位 m m 9% 線 線 線 線 線 線 線 線 線 が り り り り り り り り り り	***	算は なるでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	三根	拠 139 30 43 66 47 木 イ 1	予算 0,834 0,053 6,081 章

	<u> </u>	平成29年度 鉬	ケ谷市事務事	業評	価表	(事後)	(標準	評価表	<u> </u>					
事系	· 务事業名		交差点	友良国	丰業				会計	款	項	目	多額経費	
-J- 32	77× L		∠ ∠ ∠ ∠ ∠ , , , , , , , , , , , , ,	^_	, »(C				一般	8	2	3	0	
	政策	32都市	活動を支えるる	を通網	罔整備	を進め	ります		担当課室	道記	路河,	整	儲課	
	施策	3	21安全でゆとり	ある	道路(の整備			担当課室長	貞之	方 郭	女雄		
	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための	の方気	〔								
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	平成28年度第評価なし。	新規事業のため)、前回掲げた	月己	度に取 枚革・i			き交き	交差点 差点部 <i>0</i>					
基づく 取組み 結果	なし。			V	内容									
Ⅱ事務	事業の目的・	概要					•							
①目的	帝國(社会なばる) 衣羊占の										全性	の 「	句	
②事務事	事業の概要		直路網整備のた 行い交通渋滞の									、交	差点	
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 車交通量の増加に伴い、渋滞が発生してい									交差	点や	ο、 Ε	動	
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況												
①平成2 業の成界	8年度の事 【	市道22号線の	交差点改良予值		計を実	と施した	-0							
②成果			票名称		F度	平成27 年度	平成28 年度	単型			算定根拠			
を表す	i		適所(累計)	_	5	5	5	箇所	業務耳			,		
指標	ii	「追路の初	:況」不満足度		_		_	%	市民意	息 諏	調宜			
③事務事	!!! 事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成	28年		(事業者	<u>)</u> の主	な内訳	平局	戊29年	E度	予算	
事業費(-		0	2,621		額(千		\ 	内容	0-1 3μ/	1 /3	74_0		3,000	
国支出	出金(千円)		·			2,333	予備認	計						
	出金(千円)													
	その他(千円) +源(エ四)		0.001										3,000	
IV 評価	<mark>才源(千円)</mark> ⅰ 檢討		2,621							_			5,000	
①課題	1 1201	幅員が狭く見過	近しの悪い市道	の交	差点	が多い	0							
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		平性		3高い 3高い		v 総合	評価	-	7拡	充	
③上記記	平価の理由	要望が多く、市						改良を	行	う必要	要が	ある		
V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における						況								
①平成28年度の計画 市道22号線交差点(交差点 改良予備設計)					平) 事業費		度事業 予算額		犬況(単 ┃		千円 算額			
②計画に対	対する事業実績	市道22号線交 設計			4.000	4.000	当初 H27⇒28繰越	4,000		H27	/から 繰越			
③達成物	大況	完	7		4,000 4,000 補正 ^{流用・充当} 現年分				2,621					
④未完了	・非着手の理由			平成29	年度への)繰越額(単								

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	⊬成29年度 顕	<u> た谷市事務事</u>	<u> 莱評価表</u>	<u>(事後)</u>	(標準	評価表	()				
			£= 1 34					会計	款	項	目	多額 経費
事剂	务事業名		一般市道	整備事業				一般	8	2		
	政策	32都市	活動を支えるる	を通網整備	まを進め	ります		担当課室	道距	各河	整	備課
	施策	3	21安全でゆとり	ある道路の	の整備			担当課室長	貞ス	方 敦	女雄	
I 改革	• 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方気	策)							
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	討。	ための整備手法	③平成 度に取 改革・ 内容	組む	コスト なる検		のための整備手法の更					
基づく 取組み 結果	取組み 減を図った。											
Ⅱ事務	事業の目的・	概要		J -								
①目的	対象	一般市道		意図(対象 するのか)	をどう	安全で	きゆとり	のある	道路	各に生	整備	する。
②事務事	事業の概要	道路排水施設(生活環境の向.	の整備、舗装新 上を図る。	f設、狭あし	ハ路線	の拡幅	を行い	地域信	主民の	の利·	便性	ŧŁ
からの状況	が析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)		る一般道路が未 境が向上するよ				路排水	·整備 <i>0</i>	の必	要が	あっ	た。
Ⅲ事務	事業の成果や	やコストの状況										
	Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況 ①平成28年度の事 (1)市道2914号線舗装改良工事(L=121m)、(2)市道433											
業の成界	(L=57m)、(3)市道4103号線排水整備工事(L=171.3m)							景線排え	水整	備工	事	
	<u></u>	(L=57m)、(3)		非水整備二		=171.3r		号線排2 		備工 定根:		
②成果 を表す	R i	(L=57m)、(3) 指标 工事	市道4103号線 <mark>票名称</mark> 事延長	非水整備二 平成26 年度 1,157	上事(L= 平成27 年度 164	=171.3r 平成28 年度 625	n) <mark>単位</mark> m	業務耳	算 			
②成果	i	(L=57m)、(3) 指 工 工事延長【平成	市道4103号線 票 <mark>名称</mark> 事延長 23年度から累	非水整備二 平成26 年度 1,157	上事(L= 平成27 年度 164	=171.3r 平成28 年度 625	m m m	業務軍業務軍	算 文 得 文 得	定根	処	
②成果 を表す 指標	i ii iii	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状	市道4103号線 <mark>票名称</mark> 事延長 23年度から累 況」不満足度	非水整備_ 平成26 年度 1,157 計】2,454	工事(L= 平成27 年度 164 2,618	=171.3r 平成28 年度 625 3,243	m m m %	業務 業務 市民意	算 算 取得 取得 意識	定根語	処	▽ /#5
②成果 を表す 指標 ③事務事	i ii iii iii 事業のコスト	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算	市道4103号線 <mark>票名称</mark> 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 - 平成28年	上事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算	=171.3r 平成28 年度 625 3,243	m m m m %	業務 業務 市民意	算 算 取得 取得 意識	定根語	処 丰度	
②成果 を表す 指標 ③事務 事業費(-	i ii iii iii 事業のコスト	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状	市道4103号線 票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 一 平成28年 金額(干	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算	平成28 年度 625 3,243 - (事業費	m) 単位 m m % ()の主	業務耳 業務耳 市民意 な内訳	算 算 取得 取得 意識	定根語	処 丰度	予算 1,000
②成果 を表す 指標 ③事務 事業費(- 国支出	i ii iii 事業のコスト 千円)	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算	市道4103号線 <mark>票名称</mark> 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 一 平成28年 金額(干	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 - 円)	平成28 年度 625 3,243 - (事業費	m) 単位 m m % りの主 内容 号線舗装	業務耳 業務耳 市民意 な内訳 ^{改良工事}	算 算 取得 取得 意識	定根語	処 丰度	
②成果 を表情 事業費(- 事業費(- 県支出	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算	市道4103号線 票名称 事延長 223年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 一 平成28年 金額(干	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 13,159 7,636	=171.3r 平成28 年度 625 3,243 - (事業費 市道4103 市道4333	m m m % うの主 内容 号線舗装 号線排水	業務耳 市民意 な内訳 ^{な内訳} ^{改良工事} ^{整備工事}	算 算 取得 取得 意識	定根語	<mark>処</mark> 手度 31	,000
②成果 を表標 事費(- 事業しま) 事業しましま。	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円)	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 14,622	市道4103号線 漂名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 二 平成28年 金額(千	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 13,159 7,636	平成28 年度 625 3,243 - (事業費	m m m % うの主 内容 号線舗装 号線排水	業務耳 市民意 な内訳 ^{な内訳} ^{改良工事} ^{整備工事}	算 算 取得 取得 意識	定根語	<mark>処</mark> 事度 31	,000,
②成果 を表標 事費(= 事業] 事業 事業 事業 事業 事業 事業 の の の の の の の の の の の	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算	市道4103号線 票名称 事延長 223年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 二 平成28年 金額(千	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 13,159 7,636	=171.3r 平成28 年度 625 3,243 - (事業費 市道4103 市道4333	m m m % うの主 内容 号線舗装 号線排水	業務耳 市民意 な内訳 ^{な内訳} ^{改良工事} ^{整備工事}	算 算 取得 取得 意識	定根語	<mark>処</mark> 事度 31	,000
②成果 を表標 事業費(- 事業) 事業費(- 市債を)	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 14,622	市道4103号線 漂名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 一 平成28年 金額(干	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 - 円) 13,159 7,636 7,612	=171.3r 平成28 年度 625 3,243 - (事業費 市道4103 市道4333 市道2914	m 単位 m m 96 引の主 号線舗装・ 号線排水・	業務耳 市民意 な内訳 ^{な内訳} ^{改良工事} ^{整備工事}	算 算 取得 取得 意識	定根語	<mark>処</mark> 事度 31	,000,
②成果 を表標 事費(= 事業 国東支出 市般則 IV 評価	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	(L=57m)、(3) 指権 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 14,622 道路排水施設 i 市関与の妥当性	市道4103号線 票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400 37,530 の未整備箇所、 3高い	非水整備二 平成26 年度 1,157 計】2,454 - 平成28年 金額(干	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 -円) 13,159 7,636 7,612	=171.3r 平成28 年度 625 3,243 - (事業費 市道4103 市道2914 「が多し 3高い	m 単位 m m 96 引の主 号線舗装・ 号線排水・	業務耳 市民意 な内訳 ^{な内訳} ^{改良工事} ^{整備工事}	算5 又得 又得 下 下	調査	<mark>処</mark> 事度 31	1,300 5,700
②成果 を指 事費 国県市 一評 型 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	(L=57m)、(3) 指権 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 14,622 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性	市道4103号線 票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400 37,530 の未整備箇所、	非水整備 平成26 年度 1,157 計】2,454 - 平成28年 金額(干 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	下事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 13,159 7,636 7,612	= 171.3r 平成28 年度 625 3,243 - ・ 市道4103 市道2914 が多し 3高い 3高い 3高い	m 州 別 別 別 の主 内容 号線排水・ 号線排水・	業務 業務 市民記 な内訳 な良工事事 整備工事	算5 又得 文得 意識 平所 評価	調査 29年	<mark>処</mark> 31 24 6	i,000 i,300 i,700
②成果 を指標 ③素標 事費(5 事業) 事業 国県市会別 1V 課題 ② 記記 ② 記記	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) けの他(千円) け源(千円) i・検討	(L=57m)、(3) 指標 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 14,622 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民意識調査	市道4103号線 票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400 37,530 の未整備箇所、 3高い 3高い 3高い の「道路の状況	非水整備 平成26 年度 1,157 計】2,454 - 平成28年 金額(干 舗装の不 iii 公平性 iv 効率性 J不満足り	工事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 -円) 13,159 7,636 7,612 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	= 171.3r 平成28 年度 625 3,243 - ・ 市道4103 市道2914 が多し 3高い 3高い 3高い	m 州 別 別 別 の主 内容 号線排水・ 号線排水・	業務 業務 市民記 な内訳 な良工事事 整備工事	算5 又得 文得 意識 平所 評価	調査 29年	<mark>処</mark> 31 24 6	i,000 i,300 i,700
②成果 を指 事費 事費 東市 一評 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) けの他(千円) け源(千円) i・検討	(L=57m)、(3) 指権 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 14,622 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民意識調査である。 る事業等の「実	市道4103号線 票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400 37,530 の未整備箇所、 3高い 3高い 3高い の「道路の状況	非水整備 平成26 年度 1,157 計】2,454 - 平成28年 金額(干 舗装の不 iii 公率性 iv 効率性 」不満足度	工事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 7,636 7,612 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	= 171.3r 平成28 年度 625 3,243 - ・ 市道4103 市道2914 が多し 3高い 3高い 3高い	m 単位 m 96 96 96 96 96 96 96	業務をはなっている。 業務 民意 ない 大大 大大 大大 大大 大 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	算り、ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	記載 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>製</u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	i,000 i,300 i,700
②成果 を指 事費 国県市 一般 取 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) けの他(千円) け源(千円) i・検討	(L=57m)、(3)	市道4103号線 票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400 37,530 の未整備箇所、 3高い の「道路の状況 薬を備工事(市 103号線)	非水整備 平成26 年度 1,157 計】2,454 平成28年 ・ 金額(千 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	工事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決 13,159 7,636 7,612 良箇所 成28年	=171.3r 平成28 年度 625 3,243 - (事業費 市道4103 市道2914 が多し 3高い ずるため	m 単位 m 96 96 96 96 96 96 96	業務を表した。 本は、	第一年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	記載 29年	<u>製</u> 1 24 6 6 7 拡 3 7 本 7 本 7 本 7 本 7 本 7 本 7 本 7 本 7 本 7	i,000 i,300 i,700
②成果 を指 事費 国県市 一一評 型 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) けの他(千円) け源(千円) i・検討	(L=57m)、(3) 指権 工事延長【平成 「道路の状 平成27年度決算 14,622 道路排水施設 ・ 市関与の妥当性 ・ 前 有効性 ・ 市民意識調査・である。 ・ る事業等の「多 舗装等整備 改良工事及び排	市道4103号線 票名称 事延長 23年度から累 況」不満足度 平成28年度決算 43,850 3,920 2,400 37,530 の未整備箇所、 3高い の「道路の状況 薬を備工事(市 103号線)	非水整備 平成26 年度 1,157 計】2,454 平成28年 ・ 金額(千 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	工事(L= 平成27 年度 164 2,618 - 度決算 7,636 7,612 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	171.3r 平成28 年度 625 3,243 - 市道4103 市道2914 が多し 3高い 3高い 3高い ずるため 事業額 当初	m 脚 別 別 別 別 別 の 子 線 は は 別 の 子 線 は は 、 、 一 の と 一 に の に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	業務所民意でなり、大学を発生しています。	算り 取得調画 評価整 はは決しています。 はは決しています。 はは決しています。 はは決しています。 はないまする。 はないまる。 はないる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないまる。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はないな。 はない。 はないな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。	記載29年	<u>製</u> 31 24 6 6 7 拡 3 不 元])	i,300 i,300 i,700 充

	<u> </u>	₽成29年度 銵	ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準	評価表)		
事系	务事業名		私道整	備	事業				会計	款項	目 多額 経費
, ,			,,,,,	1.1.2					一般	8 2	3 O
	政策	32都市	活動を支えるる	を通	網整備	を進め	ります		担当課室	道路河	川整備課
	施策	3	21安全でゆとり	あ	る道路の	の整備			担当課室長	貞方 郭	女雄
	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t=&	りの方気	ŧ)	Ī				
①前回のでおりでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	により、舗装事についても	美の目的・概要				t29年 t組む 改善	の改正	こにより	、舗装	〔舗装整 整備エ [™] ついても	事に加
結果 Ⅲ 事務	 重業の日的。	概 更									
①目的	対象	私道	意図(対象をどうするのか) 舗装整備工事							支補修工	事
②事務等	事業の概要	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を推進し、地環境の向上を図る。						人、地域	住民0	D利便性	と生活
からの状況	予析(事業開始 兄変化や今後の 5民意向など)		は多くの私道が 本事業の推進!								響を及
①平成2 業の成身	8年度の事 果		及び舗装補修コ 24.8m、補修工	_	L=130ı	m					
②成果		指标	票名称		平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位		算定根	拠
を表す	i		事延長		50	0			業務耳		
指標	ii		23年度から累	十】	898	898	1,253		業務耶		
の車数章	IⅢ 事業のコスト		:況」不満足度 平成28年度決算	ग	一 ぱっっ 年	一 审选質	— (% (a) (b) ± (c)		意識調査	
事業費(一次27千及次异	8,698		金額(千		(事本員	内容	ひいづけ	一1火23-	- 反了异 6,700
	<u>+ + , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>		0,000	_	<u> </u>		舗装型		F		
県支出	出金(千円)						舗装補				
	その他(千円)										
	<u> </u>		8,698								6,700
IV 評価①課題	I*快 <u>的</u>		要綱の見直しをを広く市民に周			_	こついて	ても実施	をするこ	ことになっ	ったこと
②評価		2普通 2普通	iii	ッるこ 公平性 効率性		2普通 2普通		v 総合	評価 6精	査∙検証	
@	ii 有効性 2普通 iv 効率性						め、私	道整備	と市道	整備の	バランス
③上記記	平価の珪田	をはかり今後も	引き続き鋭意	≝∅	<u> </u>	0					
<u> </u>		る事業等の「実	『施計画」におげ		達成状	況					
V 多額			『施計画」におげ	ける	達成状	:況 成28年	度事業 予算額		犬況(単	.位;千円 決算額])
V 多額 ①平成2	の経費を要す	る事業等の「多 私道組合(舗装 装補修工事) 私道組合(舗装	<mark>E施計画」におけ</mark> E整備工事、舗	ける	達成状平 平 二 事業費	:況 成28年	予算額 当初	3,000		位;千円 決算額 H27から の繰越])
V 多額 ①平成2	の経費を要す 8年度の計画 対する事業実績	「る事業等の「身 私道組合(舗装 装補修工事)	<mark>●施計画」におけ</mark> き整備工事、舗 ・整備工事、舗	ける	達成状平 平 二 事業費	:況 成28年	予算額 当初			決算 額 H27から]) [

④未完了・非着手の理由

平成29年度への繰越額(単位;千円)

	7	平成29年度 銵	をおいまである。	業	評価表	(事後)	(標準	評価表	:)				
事系	务事業名		通学路	 怪備	事業				会計	款	項	目	多額 経費
									一般	8	2	3	0
	政策	13人間性	生豊かな子ども	のす	育成環境	竟をつく	くります		担当課室	道路	河川	整	備課
	施策	13	3児童・生徒の個	建月	を安全	の確保	呆		担当課室長	貞方	敦	雄	
	·改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t=8	りの方質	衰)							
①のでた ②基取結回価げ容にくみ	道1号線のダ う。 市道1号線の て同路線にあ	(歩道整備)の野差点部分の用の開きを実施した。	地測量を行 <u>③平成29年</u> 歩道整値 度に取組む 線歩道部 改革・改善 道49号線 カス			部の原	に向け引き続き市道15 の用地取得を実施し、市 について修正測量を実						
	- 事業の目的・	概要											
①目的	対象	通学路に指定 道	されている市	図(対象 るのか)	きどう	児童生うにす		安全に	登下村	交で	きる	よ	
②事務事	事業の概要	児童・生徒が多 おける安全性の	そ全に通学でき ^ん の向上を図る。	るよ	う、歩	道のな	い通学	路に歩	道を整	・ 備し	、登	下杉	さに
からの状況	↑析(事業開始 兄変化や今後の ĭ民意向など)		学校教育課と実 3の拡幅や歩道										
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成身	8年度の事 【		Sいて用地測量 .6ha、用地保全				用地保	全工事	を実施	į,			
②成果		指标	票名称	平成26 平成27 平成28 単作			単位						
を表す	i		件数の割合	- 1 🖫	6.4	6.3			業務取得				
指標	iii		4年度からの累	計】		_	58,939		決算書 業務耶				
の主教を	[Ⅲ 『業のコスト		長【累計】 平成28年度決算	ग	成20年	• • •					20年	唐·3	3.笛
事業費(=		30,579			放20年/ 金額(千		\ T	内容	(A) (1)	1 190	20 1		005
	<u> , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	11,140			<u> </u>		用地浿						477
県支出	出金(千円)	·				562	用地係	全工	事				
市債ぞ	その他(千円)	8,200											200
	才源(千円)	11,239	6,502									12,	328
IV 評価	i•検討												
①課題		応せざるを得な						は、ま	ずは代	替的	な対	策で	で対
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	7	拡充	Ē
	平価の理由				N 効率性 S高い								
		する事業等の「実施計画」におけ			ける達成状況							_	
		る事業等の「実	€施計画」におけ	ける									
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「身 実施設計(用地					度事業 予算額		犬況(単				
V 多額 ①平成2	の経費を要す 8年度の計画	実施設計(用地用地測量、用地	也測量)		平月	成28年	予算額 当初				算額いら		

平成29年度への繰越額(単位;千円)

	3	平成29年度 釒	兼ケ谷市事務事	業	評価表	(事後) (標準)	評価表)				
車 ¾	8事業名		河川•水路	欠 敕	(借重型	<u>-</u>			会計	款	項	目	多額 経費
す が	节末 石		/º] / I	T IIE	川井木	ξ.			一般	8	3	3	0
	政策	22	 2快適な暮らし <i>0</i>	D環	境をつ	くります			担当課室	道路	各河」	整	備課
	 施策	22		河丿	Ⅱ・水路	の整備	± #		担当課室長	貞ス	与 敦	女雄	
I 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	たと	かの方気	ŧ)							
①前回 の評価 た内容 ②①に 基づく	ついた段階で	未定であるが、3 で、整備方針等の がついていない	の検討を行う。		③平成 度に取 改革・ 内容	組む	目安か の検討 本協定	f期は未 でいた けを行う での事業 での事業	段階で。また、 き期間を	松於	を備力 三市。 更す	5針 とは るが	等 、基 、早
取組み 結果			は行えなかった。										
	事業の目的・	概要	エ要										
①目的	対象	①主要な水路②その他の水								生確	保		
②事務事	事業の概要		記設の確保及び)機能確保のた										
からの状況 見込み・市	民意向など)			後ヿ	流の整	産備が進	むと、†	「域の河	川施設				
		やコストの状況											
①平成2 業の成界	8年度の事	·紙敷川改修事	事業として、L=	23.0			多を松戸	市主体	本により	実力	施し <i>†</i>	: 。	
②成果		指标	票名称	平成26 平成27 平成28 単位 年度 年度 年度 単位			単位	2 2 2 2 2 2					
を表す	i		暫定改修実施		6.50	6.50	6.50	%	業務耳				
指標	ii iii		Omm/hr改修実施	平		2.60	2.60	<u>%</u>	業務即				
の主教す	[Ⅲ 『業のコスト		〔(河川水路) 平成28年度決算	ज	31.9	31.9 産海質	31.9	ha	業務軍		たつのを	- 唐	乳 質
事業費(=	-	6,270	2,859		金額(千		(尹木)	内容	ひりがい	T 13	X, Z J ±		,002
	'/ '金(千円)	0,270	2,000		<u> </u>		紙敷川。		負担金				,002
	出金(千円)					· · ·		-					
市債ぞ	その他(千円)												
一般則	才源(千円)	6,270	2,859									4	,002
Ⅳ 評価	▶検討												
①課題		下流河川の整り組めない。	備の目安がつい	ハて	いない	ため、	ō0mm/l	nrの降ī	雨に対	応し	た整	備に	こ取
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査∙ः	検証
	評価の理由	ては実施する。					用対効	果を考り	慮した	暫定	改修	15.	いい
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画」におり	ける						,.			
①平成2	8年度の計画	・紙敷川改修賃	趋担金	計[平画事業費	成28年	度事業 予算額		t況(単 		千円:算額		
	対する事業実績	17.000	7修負担金支払済		3 596 3 596		当初 H27⇒28繰越		0 2859		から 繰越		0
③達成物		完了		l `	-,500	2,000	補正 _{流用·充当}	0	·	現	年分	2,8	859
④未完了	・非着手の理由			平点	² 29年度へ <i>π</i>)繰越額(崔	位·千円)						

平成29年度への繰越額(単位;千円) 0

	3	平成29年度 釒	兼ケ谷市事務事	業評価	表(事後) (標準	評価表)				
± 7	5 - * 5		:# m := u	ı <i>=b </i> # =	عللد ٠				会計	款	項	目	多額 経費
事 的	务事業名		準用河川	楚偏事	·耒				一般	8	3	3	0
	政策	2:	 2快適な暮らし <i>0</i>	フ環境を	うく	ります	r		担当課室	道路	各河人	整	備課
	施策	2		————————————————————————————————————	(路0	り整備			担当課室長	貞力	5 敦	女雄	
I 改革	- 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための	方策))							
① のでた ② 基取相 できる は しょう は は は しょう は は は しょう は しょう は しょう は は しょう は は	「特別では、「大阪会」では、「大阪会」では、「大阪会」である。 「大阪会」では、「大阪会			③ <u>·</u> 度(:	[∠] 成2 □取約 查•改	19年 狙む	より、 ₋ 行って 暫定的 は、将	下流河川の整備が進んできたこのより、上流側でも将来形の整備を行っていく。また、将来形を見据え暫定的な整備を行うしかない箇別は、将来の整備に後戻りの無い。効果的な手法の検討を行う。					
Ⅱ事務	事業の目的・	概要											
①目的	章図(対象など3) 温水神宝の								<u>主確</u> (保			
②事務事	事業の概要		上と護岸の保護 十画策定を行い										
からの状況 見込み・市	(民意向など)	能力を超えるよ	集中豪雨などのうになった。下流る。依然として浸	則の整備	前が進	≛んで	きている	る場所もな	あり、市	'加し '域の	、河 <i>)</i>)河川	の 整備	施設 情が
	8年度の事	· 準用河川中沿 · 準用河川二和	₹川護岸改修工 □川バイパス改ぐ 『ンプ設置工事	修工事!	こて、ンホ	、L=1 :一ル	50m0 ポンプ	の改修を	行った				
②成果		指标	票名称	平成 年度			平成28 年度	単位	算定机	艮拠			
を表す	İ		修実施率		_		21.70	%	業務耳				
指標	ii iii		·改修実施率 v河川、準用河)	11.4) 81.	_	1.42 31.5	11.42 81.5	% ha	業務耳 業務耳				
③事務事		平成27年度決算				- N - F-F-	7 - TIV -	貴)の主な			ጀ29 ደ	E度-	予算
事業費(-		104,223		金額			() > ()	内容	011000	1 77	<u> </u>		,857
国支出	出金(千円)	·	·		31	1,100	二和川バィ	イパス整備(第	1期)工事			109	,731
	出金(千円)					,		l護岸改值	_				0
	その他(千円)	45,500	51,900					バイパス改					,320
	<u>才源(千円)</u>	58,723	85,327		13	3,100	馬込沢坩	也区ポンプ設	道工事			19	,806
1V 評価 1 課題	!• 検討		いら行うのが原則で 施する必要がある。 整備が行えない。										
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性		iii 公平 iv 効率			3高い 3高い		v 総合	評価	7	7拡3	Ť
③上記記	平価の理由	浸水被害により 要性がある。	り市民の生命・身	は産に ₹	支害 /	が及え	ぶため、	速やか	に河川	l改值	修を	行う!	必
V 多額	の経費を要す		₹施計画」におげ	ける達成									
①平成2	8年度の計画	中沢川護岸改修工事、二和 和川護岸改修(第30期)工 (第1期)、用地購入(企業月	事、二和川バイパス工事	平成28年		度事第 予算額		況(単		千円 算額			
②計画に対する事業実績 事、用地購入(企業庁用地)を完了した。					T	05 201	当初 H27⇒28繰越	325,710 70,242		H27	から		0,242
③達成物	犬況	未完		325,710 395,391		補正	0	137,227	1月4	∓分	6	6,985	
④未完了	・非着手の理由	二和川護岸改修(第30 ス整備(第1期)工事は、		平成29年度	への繰	越額(単	流用·充当 位;千円)	-561 91,147		-九-	⊢ /J	J	5,505

平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

		•				
事務事業名	地域排水整備事業	会計	款	項	目	多額経費
争协争未有	地域弥尔登脯事未	一般	8	3	3	0
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路	各河,	整	備課
施策	施策 223うるおいある河川・水路の整備				女雄	

I 改革·改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

浸水被害の軽減のため、整備は現時点で 可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や 浸水被害等のデータを基に整備可能かつ 効果のある箇所について選定した。

度に取組む 改革·改善 内容

③平成29年 浸水被害の軽減のため、過年度か ら進めている箇所の整備の進捗を 図るとともに、現時点で可能な最も 効果のある整備手法の選定を行う。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

結果

①目的	対象	TAT TOV 1415 7K 634 =42	意図(対象をどう するのか)	浸水被害の軽減
②事務事	5 3E //) W/4 144	浸水被害の直接的な原因が地で、下流への影響を考慮しつな		もカ不足や未整備であるものについ での施設整備を行う。
からの状況	で変化や今後の	河川・水路の施設能力を超えるよ	うになった。今後、	り、雨水の流出量が増加し、接続する 下流整備の進捗により、市域の河川施 被害はあり、苦情や要望が多い。

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

	▶・鎌ケ谷二丁目地区地域排水整備工事(第1期)(第2期)にて延長約133mの整備を行った。
①平成28年度の事	
①十成20十段の事	I・道野辺中央五丁目地区地域排水整備工事にて延長約130mの整備を行った。
業の成里	・温添州設署エニター工事にて温添州を16其設署した

②成果		指标	票名称	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位	算定框	拠
を表す	i	整備工事完	了·着手箇所数	20	21	21	箇所	業務取	7得
指標	ii	浸水面積	(地域排水)	11.1	10.1	10.1	ha	業務取	7得
	iii	浸透桝	設置基数	6,587	6,679	6,781	基	業務取	7得
③事務事	事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年	度決算	(事業費	(1) の主	な内訳	平成29年度予算
				A					

	111	12.221/1	成巴奎外	0,007 0,070		V 1.7
3	事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算	(事業費)の主な内訳	平成29年度予算
事:	業費(千円)	30,591	78,686	金額(千円)	内容	54,046
	国支出金(千円)			32,400	鎌ケ谷二丁目地区地域排水整備工事(第2期)	
	県支出金(千円)			26,794	鎌ケ谷二丁目地区地域排水整備工事(第1期)	
	市債その他(千円)	11,200	41,700	12,545	道野辺中央5丁目地区地域排水整備工事	34,600
	一般財源(千円)	19,391	36,986	1,036	浸透桝設置モニター工事	19,446
	事	③事務事業のコスト 事業費(千円) 国支出金(千円) 県支出金(千円) 市債その他(千円)	③事務事業のコスト 平成27年度決算 事業費(千円) 30,591 国支出金(千円) 県支出金(千円) 市債その他(千円) 11,200	③事務事業のコスト平成27年度決算平成28年度決算事業費(千円)30,59178,686国支出金(千円)県支出金(千円)市債その他(千円)11,20041,700	③事務事業のコスト 平成27年度決算 平成28年度決算 事業費(千円) 30,591 78,686 金額(千円) 国支出金(千円) 32,400 県支出金(千円) 26,794 市債その他(千円) 11,200 41,700 12,545	3 事務事業のコスト 平成27年度決算 平成28年度決算 平成28年度決算(事業費)の主な内訳 事業費(千円) 30,591 78,686 金額(千円) 内容 国支出金(千円) 32,400 母ケ谷ニ丁目地区地域排水整備工事(第2期) 県支出金(千円) 26,794 母ケ谷ニ丁目地区地域排水整備工事(第1期) 市債その他(千円) 11,200 41,700 12,545 道野辺中央5丁目地区地域排水整備工事

Ⅳ 評価·検討

①課題(目的に対する現状など)	122.3.124		道路冠水や浸水 ければならない。	被害等のデー	-タを基に整	整備可能か			
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii公平性	3高い	,	6精査・検証			
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	V 添口計画	0相且 按証			
③上記評価の理由	ト記評価の理由 治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮し事業を進める必要がある。								

多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①亚成20年度の計画	鎌ケ谷二丁目地区地域排水整備工事(第1 期)(第2期)、道野辺中央五丁目地区地域排	平成28年度事業費の状況(単位;千円)							
①十次20千度の計画	州八第2州八道野辺中天五丁日地区地域排水整備工事、浸透桝設置モニター工事	計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業宝績	鎌ケ谷二丁目地区地域排水整備工事(第1期)(第2期)、道野辺中央五丁目地区地域排水整備工事、浸			当初	57,193		H27から	26.794	
	透桝設置モニター工事を完了した。	57,193	84.192	H27⇒28繰越	26,999	78.686	の繰越	20,734	
③達成状況	完了	37,133	04,132	補正	0	70,000	現年分	51,892	
④未完了·非着手の理由				流用·充当	0		玩牛刀	31,032	
サイボ 1		平成29年度への)繰越額(単	位;千円)	0				

	3	『成29年度 銻	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準	評価表	ŧ)				
± 7/	ケキック		工业的预测	ᇦᇓᄲᆂᆂ	¥-			会計	款	項	目	多額経費
争的	务事業名		雨水貯留流	U 銓 佣 事 录	Ē			一般	8	3	3	0
	政策	22	快適な暮らしの)環境をつ	くります	-		担当課室	道路	 }河丿	川整	備課
	 施策	22		 ある河川・水路の整備					貞方	ī 郭	女雄	
I 改革	• 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方策)								
①のでた ②基取結果	浸水被害の 可能な最もな 浸水被害の 浸水被害等の 浸水被害等の 効果のある	経減のため、整 対果のある箇所 経減を図るため のデータを基に 箇所について選	備は現時点での選定を行う。 、道路冠水や整備可能かつ	③平成 度に取	②平成29年 浸に取組む 改革・改善 日容 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本							
Ⅱ事務	事業の目的・	概要				1						
①目的	①目的 対象 雨水貯留池				きどう			の調整を抑制で				
②事務事	②事務事業の概要 浸水被害の軽減のために必 池の整備を行う。整備にあり									りとし	った貝	拧留
からの状況見込み・市	♪析(事業開始 品変化や今後の 「民意向など)	設能力を超える の整備が可能と	集中豪雨などの ようになった。今々 なる。依然として	後、下流整	備の進	捗により	儿,市域	の河川				
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況			2 - 5# -							
①平成2 業の成果	8年度の事 艮		習池の用地面積 目地として北中》					を行っ	た。			
②成果			票名称	平成26 平成27 平成28 単位 年度 年度 年度								
を表す	i		の暫定整備率	85.71 85.71 85.71 9								
指標	ii		i池の整備率			57.14	%	業務軍				
②まなま	iii		·留量	, , , ,				業務軍		-00 <i>F</i>	- # 1	マケ
	事業のコスト	平成27年度決算						な内訳	半以	,291		<u> </u>
事業費(=	<u>r 円)</u> 出金(千円)	23,210 0	75,453 0			串崎新田	内容	地購入費			44	1,990
	出金(千円) 出金(千円)	0	0			雨水貯留池						
	その他(千円)	10,900	51,500		0, 100			, , , , , , , ,			31	,300
	才源(千円)	12,310	23,953									3,690
	i•検討	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,			•						
	目的に対す		減を図るため、 易所を選定しな			被害等	のデー	-タを基	に整	備可	可能	か
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	7	7拡3	充
③上記評	③上記評価の理由 都市化が進展し、下流の貯留池を整備することか								を減る	図	るに	は、
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画」におい	ける達成状	況							
①平成2	1平成28年度の計画 用地購入(企業庁用地)、串崎新田貯留池(月地借上、用地購入)			平. 計画事業費	成28年	度事業 予算額		犬況(単 ┃		千円 算額		
		用地購入(企業庁用地) 地借上、用地購入)を完	きてした。	75,002	75.564	当初 H27⇒28繰越	6,558 0	1	H277	から		0
③達成物	大況	完了		75,002	75,564	補正	68,444		現年	三分	7.	5,453
④未完了・非着手の理由						流用·充当	562		70 1	/,		

	3	呼成29年度 銻	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準	評価表	()			
事務	务事業名	都市計画道路	83•4•5号船橋	我孫子バ	イパス	線整備	事業	会計一般	款 8		多額 経費 3 〇
	政策	32都市	活動を支えるる	を通網整備	帯を進め	ります		担当課室	道路	可川枣	整備課
	 施策	3	 21安全でゆとり	ある道路	の整備			担当課室長	貞方	敦雄	ŧ
I 改革	- 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方気	策)						
①のでたた②基取にくみにくみ	境界が確定と 葉県と連携を 事業主体でも	となるよう、事業 ・図る。 ある千葉県と連	主体である千	③平成29年 度に取組む 改革・改善 内容 境界が確定となるよう事業主 る千葉県と連携を図っていき 続き用地交渉を実施する。						き、	
Ⅱ事務	事業の目的・	概要				1					
①目的	対象	都市計画道路	3•4•5号線	意図(対象 するのか)		整備す	「ること ・る。	で交通	の利何	更性を	产向
②事務事	②事務事業の概要 県道船橋我孫子線のバイル確保し、県が事業主体とな					画道路	であり	、市域]	東側の	主動	線を
からの状況 見込み・市	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況							県道船	沿橋我 [·]	孫子紀	線の
Ⅲ事務	事業の成果や	ウコストの状況									
①平成2 業の成界	8年度の事 艮	地権者との交流	歩が難航し用地	取得でき	なかった	:					
②成果		指標名称		平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位		算定	根拠	
を表す	İ		直路整備延長			2,169 12,169 m		業務耳			
指標	ii		道路整備率	33	33	33		業務耳		*	
の声数は	iii 事業のコスト		:況」不満足度	─ ─ ─ ─ % ¶平成28年度決算(事業費)の3				市民意識調査			マ宮
事業費(=		203	十成26年及沃昇	A 4= /-		(尹禾)	内容	は内部	十八八		1,000
	出金(千円)	200	U	业 识 ()		市町村		}			1,000
	出金(千円)										
	その他(千円)										
	<u> </u>	203									1,000
Ⅳ 評価	i•検討										
①課題		境界が未確定	の箇所があり、	事業用地	を取得	できなし	۰,۱۰				
②評価		i 市関与の妥当性		iii 公平性iv 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	7拡	充
ごけるii 有効性3高い③上記評価の理由機能的な道路ネットワークの 路の完成を目指す必要性が				5 築や利用			安全性	<u> </u> 性の向.	上を図	るべ	 く道
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「実			沈						
	8年度の計画				成28年	度事業 予算額		犬況(革	位;千 決算		
②計画に	対する事業実績	地元負担金未	支出			当初 H27⇒28繰越	3,000	•	H27か の繰起	6	0
③達成物	犬況	非清		3,000	3,000	補正		0	現年	分	0
④未完了	・非着手の理由	地権者との交流 地取得できなが		平成29年度への	D繰越額(単	流用·充当 位;千円)			55.	/1	U
			0								

	হ	⁷ 成29年度	ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準	評価表	<u> </u>			
事剂	务事業名		新京成線連続	立	体交差	事業			会計一般	款 項8		多額 経費
	政策	32都市	活動を支えるる	を通	網整備	を進め	ます		担当課室	道路河	可川枣	と備課
	 施策	322和	 便性の高い公	 ☆共交通体系の充実				担当課室長	貞方	敦雄		
I 改革	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	たと	かの方気	〔						
①前回 の評け た内 ②①に 基取	千葉県及び原 必要な財源の 事業主体であ	を図るため、事業 関係機関と調整 り確保を図る。	するとともに、		③平成度に取改革・i 内容	組む	3,257r るとと を図る 千葉県	n)につ もに、者 ため引 見及び[津田沼 いて高 い市交通 き続き 関係機	架化を 通の事 事業3 関と調	実施 業の E体で	もす 進捗 である
取組み 結果	登行い、必多	な財源の確保	と凶つに。				' ひ以 //i	ドレノガ圧に	ሉ ፟ፚዾ፞፞፞	ه لا		
Ⅱ事務	事業の目的・	概要										
①目的	対象	新京成線高架	喬		図(対象 るのか)	をどう			調整し、 金を支			きせ
②事務事	②事務事業の概要 本市の東西を走る新京成績 断等を解消する目的で、県									や市往	う地の)分
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)							ことから	ら、安全	È性、忖	递	Ěの
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況										
①平成2 業の成界	8年度の事 関	・初富・新鎌ケ谷・ ・総事業費を350億 変更を行った。										
2成果		指标	票名称	平成26 平成27 平成28 単位				艮拠				
を表す	i		双得済/用地面 (事業費ベース		100	100	100 72		業務 業務 軍			
指標	iii	尹未進抄卒	(尹未良ハー人)	<i>)</i>	77	84	12	90	未伤中	X 1寸		
③事務3		平成27年度決算	平成28年度決算	平	成28年	度決算	(事業書	引の主	な内訳	平成29	9年度	予算
事業費(-		382,256	1,006,056	_	金額(千			内容				6,489
	出金(千円)				1,0	06,056	県事業	ミへの 1	負担			
	出金(千円)	222.222	200 000								4.1	0.100
	その他(千円) オ源(千円)	329,900 52,356	888,800 117,256									3,100 3,389
	<u>//源(〒円/</u> j•検討	JZ,300	117,200								۷1	5,508
1 課題	1 1801	踏切による交通	通渋滞が多く、 同		う地が分	断され	ている)				
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	7拡	充
③上記記	③上記評価の理由 市民から早期完成が求めら				いるため	か 。			_			
V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」によ				ナる								
①平成2	①平成28年度の計画 負担金			計i	平/ 画事業費		度事業 予算額		犬況(単 ▮	.位;千 決算		
②計画に	対する事業実績	県に負担金をす					当初 H27⇒28繰越	773,846		八 H27かり の繰起	0.	
③達成物 ②ま完了		未 デ 事業主体である県			773,846	1,123,846	補正 ^{流用·充当}	350,000	1,006,056	現年名	1,0	06,056
坐木元	・非着手の理由	め。		平成	29年度への	繰越額(単	位;千円)				11	12,400

	3	₽成29年度 銷	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準)	評価表	ŧ)			
事系	资事業名	都市計画道路	₹3•4•10号中	沢北初富	線整備	事業(「	中沢)	会計一般	款 8	目43	多額 経費
	政策	32都市	活動を支えるる	を通網整備	帯を進め	ります		担当課室	道路河	丁川整	Ě備課
	施策	3	21安全でゆとり	ある道路	の整備			担当課室長	貞方	敦雄	
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方法	策)						
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	地質調査、用	月地取得を積極	的に進める。	③平原 度に耶 改革・		重複す	る箇所		と調節: ハて、代		
基づく取組み結果		び用地取得を実	施した。	内容		取得す	ି ବି				
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要									
①目的	対象	都市計画道路	3•4•10号線	意図(対象 するのか)				用地補 を行う	賞、エ	事を	行
②事務事	②事務事業の概要 一級河川大柏川第二記る。				の進捗に	こ合わ ⁻	せ、都i	市計画	道路の	整備	を図
からの状況見込み・市	分析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)	河川大柏川第.	から市川への主 二調節池整備署							を一	·級
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況									
①平成2 業の成身	8年度の事 果	物件調査及び	用地取得を実施	型した(A=3	3,586.45	īm [*])					
②成果		指标	票名称	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位	i位			
を表す	i		道路整備延長		12,169	m	業務耳				
指標	ii		道路整備率	33	33	33	%	業務耳			
O 1 =1	iii		況」不満足度		<u> </u>	_					
	事業のコスト					算(事業費)の主な内訳 平成29:					
事業費(14,626	78,724	金額(=		ᆅᄱᄱ	内容			29	9,975
	出金(千円) 出金(千円)					88 物件調査 01 用地取得					
	日並(111) その他(千円)				03,001	ти чен	<u> ४।ज</u>				
	け源(千円)	14,626	78,724							29	9,975
	ī•検討	,	,						•		
①課題		一級河川大柏	川第二調節池塱	整備事業と	≤の整備	計画の	の整合	を図る	こと。		
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 3高い		v 総合		7拡	
	平価の理由	が必要である。	川第二調節池塾			犬況と6	合わせ、	周辺の	一体的 ———	な整	·備
V 多額	の経費を要す	る事業等の「美	『施計画』におい	Sける達成状況 ▼成28年度事業費(世の	L 200 / 22	1/4 -	ш,	
①平成2	8年度の計画	用地購入		計画事業費	_	皮爭業 予算額		人况(隼	上位;十 決算		
		物件調査、用均		32 639	86,231	当初 H27⇒28繰越	32,639		H27から の繰越		51,329
③達成物	大況	完	ſ	32,000]	補正	0.000	1.5,,,2.	現年分	}	27,395
④未完了	・非着手の理由			平成29年度への	の繰越額(単	流用·充当 位;千円)	-3,908	<u> </u>			

平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ケ谷西側地区都市計画道路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
争协争未有	芝桑 化二甲二甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲	一般	8	4	3	0
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路	各河,	川整	備課
施策	施策 321安全でゆとりある道路の整備		貞力	了?	女雄	

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
①前回 の評価 で掲げ た内容	事業量を拡大するため国の交付金の導入 を図り、用地取得を積極的に進める。
②①に 基づく 取組み	交付金を導入し、用地取得を実施した。

③平成29年 度に取組む 改革·改善 内容

事業量を拡大するため国の交付金 の導入を図り、用地取得を積極的 に進める。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

結果

①目的	対象	Territoria de la constante de		測量、設計、用地補償、工事を行 い、道路整備を図る。
②事務事	事業の概要	当該都市計画道路の整備によする。	より、新鎌ケ谷地I	区内の発生集中交通を円滑に処理
からの状況	分析(事業開始 兄変化や今後の 5民意向など)	新鎌ケ谷特定土地区画整理 成25年度から本事業を開始し		発生集中が生じていることから、平

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事 業の成果	用地取得(A=462.07m2)、物件	牛調査及び物件調査詳細設計委託の実施 。
-------------------	---------------------	-----------------------------

C	②成果			票名称			平成28 年度	単位		算定根拠	
7	を表す	i		直路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務耳	7得	
ŧ	指標 ii ii			道路整備率	33	33	33	%	業務耳		
	iii		「道路の状	況」不満足度	_			%	市民意	意識調査	
(③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算			(事業費	(1) の主	な内訳	平成29年度	E 予算
III.	事業費(-	千円)	69,570	100,787	金額(干	-円)		内容		12	27,628
	国支出	出金(千円)		38,895		15,276	用地取	収得		2	28,632
	県支出	出金(千円)									
	市債そ	その他(千円)	61,000	53,500						3	88,600
	一般則	オ源(千円)	8,570	8,392						6	0,396

Ⅳ 評価・検討

①課題	当該都市計画道路は東西にアクセスする道路がないため、早期に事業を進めてい く必要がある。									
②評価	i 市関与の妥当性		-	3高い	v 総合評価	7拡充				
	│ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い						
	新鎌ケ谷地区と西部地区の交通を円滑に処理し、道路利用者の安全性や利便性 の向上を早急に図る必要性がある。									

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	田地睡入	平成28年度事業費の状況(単位;千円)						
①十成20十度の計画		計画事業費	予算額			決算額		
	用地取得、物件調査、物件	96,941	129,161	当初	96,941	100,787	H27から	28,312
	調査詳細設計委託			H27⇒28繰越	28,312		の繰越	
③達成状況	未完了			補正			現年分	72,475
	物件調査及び用地交渉に不測の時			流用·充当	3,908			
	間を要したため。	平成29年度への繰越額(単位;千円)		28,163				